

今回のアーティスト・トークは、先ごろ急逝された荒川修作さんをしのび、交流の深かった研究者、塚原史(つかはら・ふみ)さんにお話をうかがう緊急企画です。会場には荒川作品全12点が並びます。この機会にぜひお運びください！

荒川修作(1936 - 2010) : 61年渡米。翌年マドリン・ギンズと出会い、以後ともに制作を行う。「荒川修作の実験展—見る者がつくられる場」(東京国立近代美術館他、1991 - 92年)など個展多数。

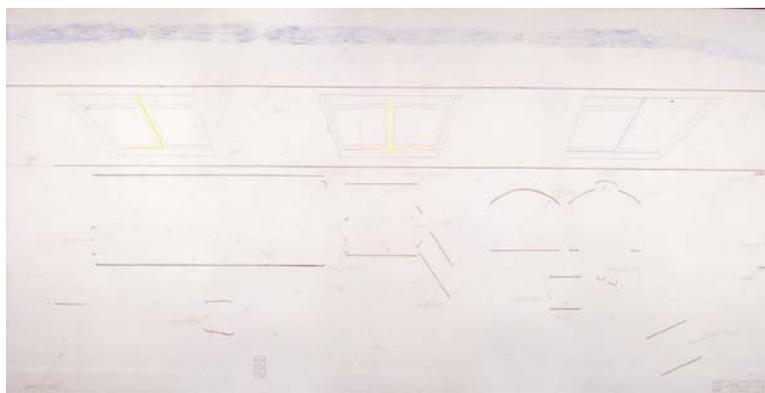
塚原史 : 早稲田大学法学学術院教授。専攻は現代思想、表象文化論。『荒川修作の軌跡と奇跡』(NTT出版、2009年)他著書多数。



東京国立近代美術館アーティスト・トーク 第26回 緊急企画： 塚原史さん、荒川修作さんを語る。



作品 1960年 当館蔵



アルファベットの皮膚 No.3 1966-67年 当館蔵

2010年9月24日[金] 18:30-19:30

東京国立近代美術館 本館2Fギャラリー内

予約不要・聴講無料(ただし所蔵作品展観覧料が必要です)

所蔵作品展観覧料 一般420円 | 大学生130円 | 高校生および18歳未満、65歳以上無料

同時開催「手探りのドローイング」(2Fギャラリー4)

千代田区北の丸公園3-1

アクセス: 東京メトロ東西線竹橋駅1b出口徒歩3分

お問合せ: 03-5777-8600(ハローダイヤル)

ホームページ: <http://www.momat.go.jp>

